2024/2/10
一般社団法人 日本スタンドアップパドルボード協会

2024 年度 SUPA 全日本選手権/SUPA 公認大会レギュレーション

SUP レースクラス

（予選）各地区 SUPA 公認大会における全日本出場基準は以下のとおり

1．SUPA 会員であること（全日本含む）
2．SUP レース大会規約（2024.01 Rev2.3）に準ずること
3．大会参加時は、SUPA 会員証を提示または会員であることを証明できる資料を提示すること。
※会員証がお手元にない場合は、SUPA ホームページまたは SUPA 事務局までご確認ください。
※公認インストラクターは SUPA 会員である。
4．各地区公認大会におけるエリートクラスの全日本出場権獲得は、制限時間内（5 Km は TOP がフィニッシュしてから 20 分を基準とし、1 Kmごと距離が長くなれば、10 分加算とする）で完走した選手のうち、上位 50%以上がエリートクラス、オープンクラスでは完走者のみが出場権を獲得する

（2024 年度全日本ＳＵＰ選手権：開催案内）

1．SUP レース大会規約（2024.01 Rev2.3）に準ずること
2．ジュニア（中学生）クラス/Kids（小学生以下）クラスは SUPA 会員でなくても可。

クラス		カテゴリ	年齢制限	ディスタンスレース	テクニカルレース
a.	エリートクラス（男女）	14.0ft以下のレースボードクラス （幅、重さ、材質に制限はなし）	なし	18km以内	○
b.	マスターエリートクラス（男女）	14.0ft以下のレースボードクラス （幅、重さ、材質に制限はなし）	50歳以上		
c.	オープンクラス（男女）	14.0ft以下のレースボードクラス （幅、重さ、材質に制限はなし）	なし 年齢別 表彰あり	6km以内	○
		14.0ft以下のインフレータブルクラス （SUPA認定のインフレータブルボード）			
		12.6ft以下のレースボードクラス （幅、重さ、材質に制限はなし）			
		12.6ft以下のインフレータブルクラス （SUPA認定のインフレータブルボード）			
		14.0ft以下のオールラウンドクラス （重さ、材質に制限はなし）			
		12.6ft以下のオールラウンドクラス （重さ、材質に制限はなし）			
d.	フレッシュマンクラス（男女） ✓「フレッシュマン」とはSUP経験1年以内の方で自己申告制とする。	14.0ft以下のボードクラス （ボード形状、幅、重さ、材質に制限はなし）	なし	6km以内	○
e.	ジュニア（中学生男女　中学１年生～３年生）クラス ✓予選会でのこのクラスの開催可否は主催者判断 ✓全日本についてはエリートクラス/オープンクラスとのダブルエントリーは不可 ✓予選会なしのエントリー受付とする	14.0ft以下のボードクラス （ボード形状、幅、重さ、材質に制限はなし）	あり	6km以内	×

	クラス	カテゴリ	年齢制限	ディスタンスレース	テクニカルレース
f.	Kids（小学生男女、高学年　小学４年生～６年生）クラス ✓予選会でのこのクラスの開催可否は主催者判断 ✓全日本についてはエリートクラス/ オープンクラスとのダブルエントリーは不可 ✓予選会なしのエントリー受付とする	14.0ft以下のボードクラス （ボード形状、幅、重さ、材質に制限はなし）	あり	6km以内	×
g.	Kids（小学生男女、低学年　小学１年生～３年生）クラス ✓予選会でのこのクラスの開催可否は主催者判断 ✓全日本についてはエリートクラス/ オープンクラスとのダブルエントリーは不可 ✓予選会なしのエントリー受付とする	14.0ft以下のボードクラス （ボード形状、幅、重さ、材質に制限はなし）	あり	3km以内	×

（オープンクラス　年齢別クラス）

～　７才　　幼稚園以下
７～　９才　　小学校１年生～３年生
１０～１２才　小学校４年生～６年生
１３～１５才　中学校１年生～３年生

１６～３９才
４０～４９才　４０代
５０～５９才　５０代
６０～６９才　６０代
７０才以上

（大会中止基準）

原則、以下を中止基準として定める。基準以下であっても、安全に大会が開催できるよう主催者が適切な判断をすること。

風速 10m/s 以上　波高 2m 以上　津波注意報以上中止

SUP サーフィンクラス

（予選）各地区 SUPA 公認大会における全日本出場基準は以下のとおり

１．SUPA 会員であること

２．ジャッジ基準は NSA のジャッジ基準（https://www.nsa-surf.org/basic/rule/）に準ずること

３．インターフェアランス/プライオリティー：ルール（2018.10.23 公開）の適用を推奨すること

４．クラス分けについては、原則スペシャル/オープンとするただし、募集人数によってクラス分けできない場合は大会エントリー登録クラスに基づきポイントが付与される

５．全日本出場権獲得については、SUPA 公認大会（予選会、東日本、西日本選手権大会含む）において、ラウンド１通過選手は当該カテゴリのスペシャルクラスに出場可能

６．SUPA 公認大会（予選会）において、ラウンド１通過選手またはリパチャージ通過選手は当該カテゴリのオープンスペシャル、オープンクラスに出場可能

７．SUPA 公認大会（予選会）において、出場した選手はオープンクラスのみに出場可能

８．前年度の全日本選手権各クラスのファイナリストには全日本選手権の出場権を与える

９．ヒート時間の前提：予選 13～15 分、ファイナルは 15～20 分を推奨

10．最低１ラウンド４ヒート以上推奨（ヒート人数は規定しない）

11．各地区公認大会でのダブルエントリーは主催者の判断可否による

12．大会参加時は、SUPA 会員証を提示または会員であることを証明できる資料を提示すること。

（2024 年度全日本ＳＵＰ選手権：開催案内）

※ジャッジ基準は NSA のジャッジ基準に準ずる

※インターフェアランス/プライオリティー：ルール（2018.10.23 公開）の適用する

クラス・カテゴリ		年齢制限
ショートクラス		
a.	スペシャル（男女）	年齢制限なし
b.	オープンスペシャル（男女）	年齢制限なし
c.	オープンクラス（男女）	男子 ジュニア　～１７歳 メンクラス　１８歳～３９歳 マスタークラス　４０歳～５９歳 カフナクラス　６０歳以上
		女子 年齢制限なし
ロングクラス		
a.	ロングスペシャルクラス（男女）	年齢制限なし　9.0ft以上のボード使用が前提
b.	ロングオープンクラス（男女）	年齢制限なし　9.0ft以上のボード使用が前提

SUP サーフィンルールについて

※ライディング採点基準はＮＳＡルール（https://www.nsa-surf.org/basic/rule/）を採用する。
※インターフェアランス/プライオリティー：ルール（2018.10.23 公開）を適用する。
※競技時間及びレギュレーションは以下の通りとする。

１） １ヒート基準とし１３分～１５分 に設定する

【ファイナルヒート 基準とし 15 分～20 分を目安とする】

Ｒ１～セミファイナル 13 ～ 15 分 ： ベスト２ ～ ４ マキシム ８ ～ 12

ファイナル 15 分 ～ 20 分 ： ベスト ２ ～ ４ マキシム １０ ～ １２

【波のコンディションによりコンテストディレクターとヘッドジャッジによって決定する】

２）基本ウエーブカウントは選手各自にて管理し競技に臨む

【競技中、放送にて競技時間の経過、タイムスケジュール進行を行う】

【競技中に選手の希望にてウエーブカウントアナウンスも対応出来る限りにて行う】

３）ヒートスタート前の選手はスタンディングをしてはならない

【ゲティングアウト時も同様スタンディングを行ってはならない】

【身体上の都合にてやむをえない場合は例外とする】

４）ヒート中の波待ち時は、原則スタンディングとする

【波のコンディションによりコンテストディレクターとヘッドジャッジによって決定する】

５）ヒート中のゲティングアウトはスタンディング、ニースタンド、腹ばいを問わない

【ヒート選手のライディングの邪魔にならない様に指定されたポジションからゲットする】

６）SUP サーフィンのテイクオフについて

【選手がパドリングを開始し、波の前に出たらテイクオフしたとみなす】

７）競技時間はオフィシャルによって計測され、ホーンにて告知する

【 開始時 １回 終了時 ２回 】

８）競技時間はタイムパネル（旗の場合もあり）によっても表示を行う

【開始時 緑 終了３分前 黄 終了時 赤 】

９）競技開始は通常沖のラインナップから行うが、状況によりビーチスタートで行なう場合がある

１０）競技終了はアナウンスで終了５秒前から１秒毎にカウントダウンし「０ 」のコールと同時に鳴らされる
１回目のホーンによる

１１）運営側にて、タイムテーブルを会場アナウンスにて周知を行う

【基本的に選手は個々のタイムテーブルを確認し自己調整を行わなければならない】

１２）競技時間内にマキシムウエーブを満たした選手は速やかに腹ばいにて退水しなければならない

【マキシムウエーブを満たしなお、退水しない選手は罰則対象となる可能性がある】

１３）ヒート途中での競技時間延長は行わない

【何らかの理由により競技が中断された場合、その時点から再スタートし、残り時間を競技時間とする】

１４）採点方法はベストウエーブの合計得点の高い順に順位をつける

【例、ベスト２　ウエーブの合計点数を計算して順位を決めるが、同点の場合はベスト１にて決める】

【ベスト１にても同点の場合はベスト３、４，５にて同点が崩れるまで繰り返される】

１５）一度コールされたヒート結果については覆す事はで来ない

【ヒート結果を変える事はできないが、指摘内容、意見内容を参考意見とし申し入れできる】

１６）選手はインターフェアレンスの判定に関する問い合わせなどについて、プロテストの手続きを取ることでヘッドジャッジに対し説明を求める権利を有する

【プロテストシートに必要事項を記載し、ヘッドジャッジとの話し合いが可能。話し合いは当事者のみが参加できる。プロテストは大会会場でのみとする】

１７）正式タイムスケジュールはコンテストディレクターとヘッドジャッジによって決定する

【減点及び指導、指摘は同様、コンテストディレクターとヘッドジャッジによって決定する】

１８）コンテスト（競技）エリアフラッグを設置し競技を行う

【ヒート参加選手は競技エリアフラッグ内にて競技する】

１９）明らかに競技エリアフラッグ外からのライディングは採点対象外とみなす

【何度となくエリアフラッグ外からのライディングを繰り返す選手は採点対象外となる】

２０）ヒートに臨む選手はゼッケンカウンターにてゼッケンを受け取りその場にて着用する

【ゼッケン返却時もゼッケンカウンター迄着用しゼッケンカウンターにて脱ぐ事とする】

【ゼッケン未着用選手は失格処分とする】

２１）ジャッジ、大会スタッフ、その他大会関係者に対し社会通念上、スポーツマンとしてあるまじき行為を行った選手はペナルティまたは失格とする

【暴言や暴行、危険行為、破壊行為、SNS 等による誹謗中傷、指導、指摘に対応しない選手は失格処分とする】

【インアーリー、アップアフター、マキシマムオーバー、ゼッケンの不着用、過度なパドリングマークなど競技規定に定められた反則行為をジャッジ、ビーチマーシャルの再三の警告に従わず続けた場合はペナルティを科す】

【ペナルティは、訓告（厳重注意）、1 試合出場停止（当該試合の権利はく奪を含む）、年間全試合出場停止がある。過度な行為については追加処分の可能性もある】

２２）　大会（イベント）がなんらかの理由にて途中で中止になった場合はそのラウンドに残った選手でポイントを均等に分配するものとする

【一度中止になった大会は再試合しないものとする】

（大会中止基準）

原則、以下を中止基準として定める。基準以下であっても、安全に大会が開催できるよう主催者が適切な判断をすること。

風速 15m/s 以上　波高 5m 以上　津波注意報以上中止

SUPA 全日本選手権推薦枠について

① スポンサー様枠	１スポンサー様	４名
② 賛助会員様推薦枠	１賛助会員様	４名
③ 支部、ブロック推薦枠	１支部	４名
	１ブロック最大	１０名
④ 開催地ブロック推薦枠		１０名

推薦枠は、SUP レース、SUP サーフィンそれぞれに推薦いただける人数とします。
人数は、男女比関係ありません。①～④の推薦枠を保持している方々は、全日本選手権エントリー開始前に SUPA 事務局までメールにて推薦者（選手）のご連絡をいただきたく。
メールアドレス：office-supa@supa-japan.com
件名：SUPA 全日本選手権推薦選手
内容：以下の内容をお知らせください。
選手名、年齢、住所、SUPA 全日本選手権参加競技名（SUP サーフィン、SUP レース）、出場クラス、出場カテゴリ
※推薦枠にクラス、カテゴリの条件はありません。

何らかの公認大会の開催が出来ない地域が発生した場合は、協会側で協議をし推薦枠が変更される場合があります。

日本スタンドアップパドルボード協会 ブロック長 問い合わせ先一覧

	役職名	氏名	メールアドレス
1	北海道ブロック長	－	
2	東北ブロック長	加藤　英樹	hideki.sendai@mbf.nifty.com
3	北信越ブロック長	廣田　明典	ahirota@topaz.ocn.ne.jp
4	関東ブロック長	照山　一保	sup@lbalance.co.jp
5	神奈川ブロック長	前田　勇輝	yuki517maeda@gmail.com
6	中部ブロック長	中野　敏彦	info@airborn.co.jp
7	関西ブロック長	三口　省賢	kama@offthewall-int.com
8	中国ブロック長	西川　隆治	mail@magicislandsurf.com
9	四国ブロック長	前川　佳嗣	wind@kagawasensui.com
10	九州ブロック長	大庭　哲浩	stepkite@helen.ocn.ne.jp
11	沖縄ブロック長	田口　元気	ohanasupokinawa@icloud.com

ブロックと都道府県支部

ブロック	都道府県支部	ブロック	都道府県支部
北海道ブロック	北海道支部	関西ブロック	滋賀支部
東北ブロック	青森支部		和歌山支部
	岩手支部		奈良支部
	秋田支部		大阪支部
	宮城支部		京都支部
	福島支部		兵庫支部
	山形支部	四国ブロック	徳島支部
北信越ブロック	新潟支部		香川支部
	長野支部		高知支部
	富山支部		愛媛支部
	石川支部	中国ブロック	岡山支部
	福井支部		鳥取支部
	山梨支部		広島支部
関東ブロック	茨城支部		島根支部
	栃木支部		山口支部
	群馬支部	九州ブロック	福岡支部
	埼玉支部		佐賀支部
	千葉支部		長崎支部
	東京支部		大分支部
神奈川ブロック	神奈川支部長　西		熊本支部
	神奈川支部長　東		宮崎支部
東海ブロック	岐阜支部		鹿児島支部
	静岡支部	沖縄ブロック	沖縄本島支部
	愛知支部		八重山支部
	三重支部		宮古支部
			慶良間支部